

八碁連だより

令和6年6月号
第392号



観栖寺（西寺方町）

発行日 令和6年6月1日(土)
発行所 八王子囲碁連盟
住 所 八王子市長房町 506-13
電 話 042-667-1500
発行者 澤田 信夫
編集者 荒畑 昭一



<https://hachigoren.com>

八王子囲碁連盟



八王子囲碁連盟の目的

八碁連は市民が、伝統文化である囲碁を通じて親睦を図り、健康が維持できるような機会を提供し棋力の向上を目指すとともに、囲碁の啓蒙と普及に努めることを目的とする。

巻頭言

故郷



恩方同好会会長 藤森 力

故郷の八ヶ岳南麓北杜市から上京し、早62年の歳月が流れた。
北杜市は南に富士、北に八ヶ岳、西に北岳、甲斐駒、鳳凰三山、東に金峰、瑞牆山を仰ぐ、山また山に囲まれた風光明媚なところである。
春は田植え前の田圃が、一面蓮華の絨毯でピンク色に染まる。
日本一、日照時間が長いと言われているが、夏のキラキラ光る太陽と、むくむく湧き上がる入道雲の力強さは関東平野で味わう事が出来ない。夜は近くの水清き小川に蛍が乱舞する。子供の頃は麦わらで作った小籠をもって蛍狩りもした。

夜空を見上げると天の川にちりばめた無数の宝石が今にも降ってくるようだった。

実家の近くには甲斐源氏の流れをくむ辺見一族が築城した谷戸城跡があり、これは、国の史跡に指定されている。

谷戸城のすぐ南、城南地区には縄文時代の八ヶ岳南麓全体の祭祀場と思われる金生遺跡も発掘された。これまた国の史跡である。

そんな歴史の宝庫のような故郷を離れ長い年月が夢のように過ぎ去った。子供たちを連れ年に何回か実家にも帰ったものであるが、コロナ以降すっかり足が遠のいてしまった。

故郷の思い出は語りつくせないほどあるが、父に囲碁を教えて頂いたことは一生の財産である。父は体が弱く私が子供の頃近所のおじさんたちが我が家を訪れ、よく碁を打っていた。

そんな大人達の対局を炬燵の脇で見ている、興味を覚えたと言るのが正確かもしれない。田舎ではあるけれども意外と囲碁が盛んな土地柄である。

中央線長坂駅前には囲碁美術館があり、東京では見る事のできない珍しい囲碁美術品が多数展示されており一見に値する。

退職後の長い日々、八碁連の仲間たちと囲碁を楽しんでいる幸せを、故郷と父に感謝し報告したい。今年は久しぶりに故郷の山々や夜空を仰ぎ、北杜市囲碁美術館にいつ併設されている碁会所で知らない人達と甲州弁で語り、碁盤を囲んで見よう。

理事会議事録(抄)



令和6年度 第1回理事会 議事録

日時：令和6年4月27日（土曜日） 9時から12時

場所：大横保健福祉センター 第1会議室

出席者：澤田、浅川（議事録作成）、木村、小西（欠席）、棚原、荒畑

会長報告

- ・浅川同好会の生きいき大会（4月7日）に会長及び木村理事が出席、恩方大会（5月5日）にも出席予定
- ・4月8日市役所にて、八王子市と教育委員会へ子ども大会の後援依頼をした。併せて教育委員長名の賞状を依頼した。市からは許可された
- ・4月10日 大横保健福祉センターへ代表者の変更を届けた。
- ・4月13日 東浅川保険福祉センターへ代表者の変更を提出した。
- ・4月22日 東浅川保険福祉センターへ令和6年度の会員名簿と異動届を提出した。
- ・子ども大会の役割分担表を作成し、各理事にメール配布した。
本日の検討課題である
- ・子ども大会の参加者募集のチラシを作成し 4月23日囲碁案内人に学校への配布を依頼した

各理事報告

- ・八碁連会員名簿の作成 4月25日川口市民センターで印刷。
- ・子ども囲碁大会の参加者募集の記事をホームページに掲載する。（5月10日以降に）。
- ・8月24日（土）に開催予定の、第6回多摩地区28市町対抗団体戦実行委員会が5月9日に開催されるが、これに、浅川副会長が出席する。
- ・八碁連だより（6月号）の予定記事は、巻頭言、恩方同好会生きいき大会（5月5日）の結果、中野同好会生きいき大会（7月28日）のお知らせ、その他、「会員からの投稿1件」、日本棋院八碁連支部の活動報告等予定している。
- ・研修部や初心者教室の在り方について、当該担当者からも意見や要望があるようである。理事会としても対応を考える必要がある。
- ・7月27日（土）大横福祉センター予約済み（理事会予定）
- ・各同好会へ八碁連会費の納入要請を5月に行う。

議案討議事項

1. 八王子市子ども囲碁大会の成功に向け各理事の任務分担について（会長作成の資料を基本に検討する）
令和6年度第11回八王子市子ども囲碁大会（6月30日）の役割分担表（準

備)と(人数確定後～当日)までの、二つの流れに沿って、役割及び作業等を検討し、担当者及び責任者を決定した。

2. 理事による八碁連ホームページの内容勉強会を開催予定。
3. 研修部役員及び初心者教室との話し合いの開催を検討した。
4. 新会員獲得のための取り組みとそれに関わる費用の補填についてのルールに付いて討議する。

会員減少の現状による八碁連組織の機能低下を避けるため、地区同好会等が新規会員獲得のために行う取り組みに対して助成するルールを検討する。別添資料にもとづき検討した。(会長提案資料)

5. 八王子市子ども囲碁大会の参加者募集チラシの作成について
4月23日囲碁案内人に学校への配布を依頼した。
6. その他

次回理事会は 5月25日(土曜日) 9:00から12:00
場所 大横保健福祉センター 第一会議室

お知らせ

★第32回生きいき大会のご案内

【中野大会】マスク着用推奨

- ◆開催日：令和6年7月28日(日)
- ◆受付：午前9時10分～ 9時30分開始予定
- ◆会場：中野市民センター tel 042-627-6221
- ◆参加費：会員1,000円 非会員1,200円(弁当付き)
- ◆申込先：各囲碁同好会長→中野囲碁同好会長 宮崎 洋
メール：hiroshivegas777@gmail.com
申込期限：令和6年7月14日(日)

★第32回生きいき大会の結果

【恩方大会】の結果 令和6年5月5日(日)
会場 恩方市民センター



恩方大会開会式

参加者数（同好会別内訳）

浅川	恩方	元八	中野	大和田	石川	台町	長房	南大沢	一般	非会員	計
7	24	9	8	3	4	1	8	3	2		69

Aクラス（8段～四段A）（人員20名）

優勝：小川浄二（南大沢／八段）

準優勝：山田恵規（中野／七段）

3位：久島世次（恩方／五段）

Bクラス（四段～初段）（人員23名）

優勝：巻淵正治（石川／四段→四段A）

準優勝：藤牧健二（長房／二段）

3位：野口裕司（中野／三段）

Cクラス（1級～7級）（人員26名）

優勝：清水純一（長房／1級→初段）

準優勝：佐伯義雄（一般）

3位：宮寄勲（恩方／1級）

★研修部例会

6月：6月8日（土）、6月15日（土）、6月22日（土）

7月：7月13日（土）、7月20日（土）、7月27日（土）

投稿

吾がへぼ碁人生



南大沢囲碁同好会 清水 克彦

2024年新年挨拶の中で、八碁連会長 池田正三氏が、八碁連の会員が年々減少してきており、高齢化によって組織力も低下している実情を嘆いておられるやにお見受けいたしました。そして、これからの八碁連の発展的な展望をいくつか示し、会員の協力と、支援を強く要望されていました。私も、南大沢囲碁同好会の一員として、出来るだけ大勢の人と楽しく対局出来る様になっただいと思っております。

私は、1937年2月広島県の瀬戸内海に面した半農、半漁の町で生を受けました。高校を卒業後地元の会社に就職しました。従業員数は5,000名を超

える大工場で、昼食後の休憩時間に先輩達から囲碁を教えられました。その後、転勤で方々を渡り歩くことになりましたが、多分、その間、囲碁は少しずつは続けていたのだと思います。

1992年山梨県甲府市に住まいを得、医療機器の販売に精を出している時期でした。3月の始め、山梨日日新聞社、山梨放送主催の、第二十四回県下段別囲碁大会が開催されるのを新聞で知った妻が、「あなた、出てみたら」というものだから「それなら」と直ぐ、2段の部への参加を決めました。

四回戦まで順調に勝ち進んで、いよいよ優勝決定戦を向かえました。今までは、三連勝で勝ち上がった

山梨日日新聞1992年(平成4年)3月10日

のですが、この碁も「中の碁」になりそうです。私の白90が優勝を決めた待望の着手になったと観戦記の先生は、新聞の連載で述べておられました。翌日の新聞に優勝者の会見記事も掲載されたこと、販売先の方たちも共に喜んでくれ、私の営業にもプラスになったことも伝えておきたいと思います。

スイス方式

勝ち数の多い人とぶつかって勝つのが、点数が多くなるというわけです。

白94は、黒が定着すると白96と出て、黒が白のこのハのキりで、手になるのを確かめてください。

それを防ぐのに、白98さんは黒99と一手加えて後手。

段別囲碁大会

2段優勝決定戦

(第6譜)

先白須 芳枝 (河口湖町)

清水 克彦 (甲府・真川)

(白半コシ)

観戦記

大猿子

式は、スイス方式とトーナメント戦の中間の方式と理解しておいてください。

まっとうなソケットでは、このスイス方式がトーナメントより良いと、非常に好評なのも書かれています。

左下スミで黒99と三に入ったあと、

2014年4月由木中央市民センターで囲碁クラブ対局中に突然背中に痛みを覚えました。直ちに救急車の手配をしていただき、搬送先は『八王子医療センター』で、診断は「急性大動脈解離」ということでした。”生命の危険が高いため、中心静脈カテーテルを挿入しながら降圧薬を中心とした保存的加療をするが、病状次第では、気管切開など緊急の手術を行う場合もある”と主治医から言われました。

家族は、そのとき、最悪の事態を想像しておったと後で言っていました。幸い、合併症も出ず、5月はじめ退院する事ができました。

2024年1月南大沢囲碁同好会の対局日は6回予定されている。予定表を前に寒さに負けないで出来るだけ出席するぞ！ と意を強くしているこの頃で

す。私のへボ碁人生は、これから先いつまでも、どのように続いていくのでしょうか。(参考までに、2段優勝決定戦の棋譜を添付します。)

日本棋院八碁連支部コーナー

日本棋院八碁連支部 常任幹事 南 正一郎

令和5年度の支部活動報告

去る3月22日に「関東、甲信越及び静岡地区の支部代表者懇談会」が市ヶ谷の本院で開かれました。日本棋院は今年創立100周年の節目にあたり、小林理事長より次の100年に繋げることを使命とし、囲碁ファンに喜んでいただける施策を実施していく旨の所信表明がありました。しかし会員の現状は総数で15千人強で3年連続して3千人超の減少という大変厳しい状況です。

八碁連支部は現在39名です。昨年同時期より5名減少ですが、日本棋院が経費削減策として行った「囲碁未来」及び「週刊碁」の休刊に際して、当支部の当該会員の皆さんの殆どが「碁ワールド」会員として継続していただきました。ありがとうございました。

事業報告としては、第7回級位認定囲碁大会を10月22日に41名の参加を得て行い、12名の方が昇級され、4戦全勝の4名の方には日本棋院の免状を進呈しました。

11月12日と26日の八碁連囲碁大会と同時開催した第17回及び第18回指導碁会は日本棋院の熊丰七段、吉原由香里六段を講師として招き、吉原由香里六段からは感想文を頂戴するなど、盛況裡に終わりました。

また、ここ数年来続けてきた囲碁研究会は会場改装工事のため、ペア碁大会は参加者数の見込みが立たないため中止しました。

今年度の事業も前年度同様に級位認定囲碁大会、指導碁会を中心にして実施したいと考えています。



指導碁の吉原由香里六段

また、前年に引き続き日常の取り組みとして

- ・日本棋院会員への入会と既会員の支部会員への移行
- ・ネット碁「幽玄の間」会員や「情報会員」への入会と支部への登録 を奨めていきます。

これらは日本棋院から支部へペイバックされる普及協力金額やポイント数等の特典として跳ね返って、支部の活動資金、指導碁会の派遣料削減、大会の賞品進呈として反映します。

月刊誌「碁ワールド」は「囲碁未来」休刊後、級位者から段位者まで幅広く楽しめる内容になりました。入会され、購読されることをお薦めします。終わりに、平成 6 年度の総会議案については、池田八碁連会長(兼支部長)により、3月31日付けの書類決裁としました。総会資料や入会手続き等についてご所望の方はご連絡下さい。また、支部に対するご意見、ご提案があれば歓迎です。よろしくお願いします。

【編集後記】

西寺方町にある「観栖寺」(かんせいじ)に行ってみました。陣馬街道から、信号、恩方市民センター入り口を左折し、センター前を通過し300m先、左側にあり、広々とした駐車場は、大きなお寺さんだな、と感じました。

ご本尊はお釈迦様でしたが、由緒あるお寺さん。徳川家光より「八石一斗」の観音堂領を与えられたと言うことで、家紋は徳川家の「葵のご紋」だそうです。一石は米10斗だから、相当な米の量が年貢として納められる領地を受領したことになります。

さて、恩方、西寺方地区には、中村雨紅の童謡、「夕焼け小焼け」のモデルだろうとされるお寺がいくつかあります。「観栖寺」もその一つ。今でも、裏の小山から西北を見る景色は、遠く美しい山々が、夕焼けに染まるパノラマを容易に想像できます。この歌は大正8年頃の作品だから、歌の景色そのままだったろうと思います。

本殿の小高い裏山にある「夕焼けの鐘」は、木々にかこまれてひっそりと一人たたずみ、思わずひと突きして見たかった所でした。(S.A)



夕焼けの鐘